

# 久留米市地場企業景況調査レポート(平成22年4月～6月期調査分)

## <調査目的>

久留米市内地場企業の景況及び経営動向を把握し、今後の経営改善普及事業に資するとともに、これらの情報の集計結果を事業所へ提供し、経営の参考にしていただくために調査する。

## <調査対象>

当所会員事業所を対象とし、建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業それぞれ120社ずつ、計600社を任意抽出して実施。

## <調査要領>

四半期ごとに調査用紙を郵送し、前年同月比や来期の予測について回答を求める。調査の集計は日商中小企業景況調査の集計方法に基づいた景気判断指数(DI値)で行う。

## <DI値とは>

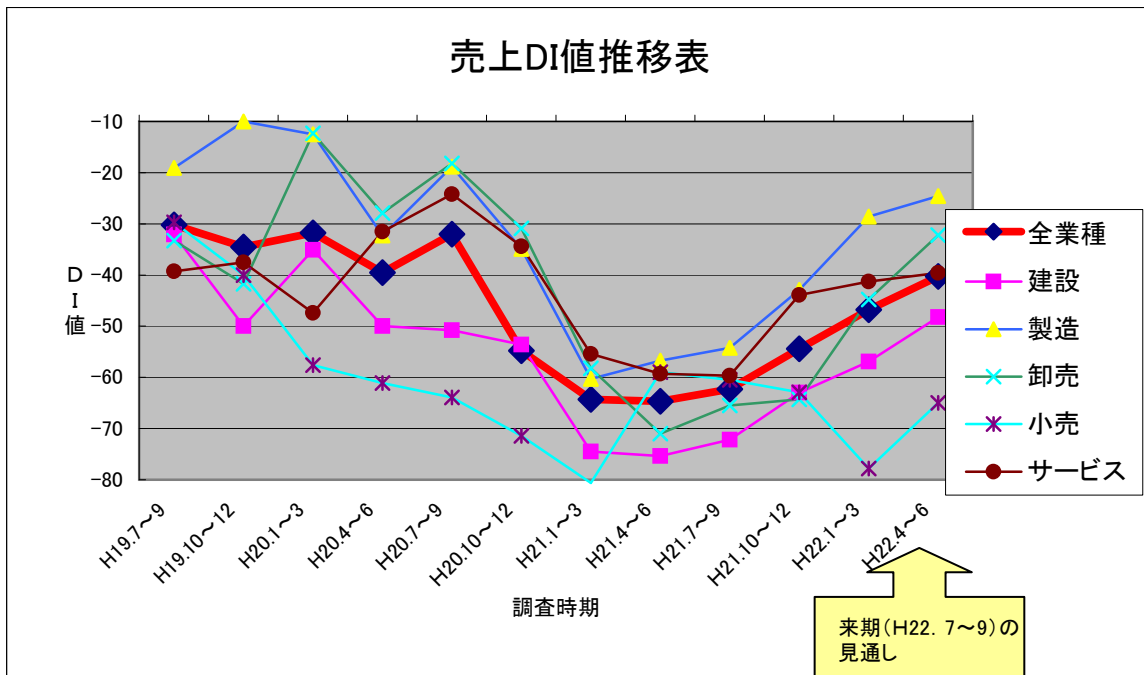
DI(ディーアイ。Diffusion Index: 景気動向指数の略)値は、売上・採算・業況などの各項目についての、ヒアリング対象の判断の状況を表す数値。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答(「増加」や「好転」など)の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答(「減少」や「悪化」など)が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

## <平成22年4月～6月期調査分回収結果>

| 業種    | 対象事業所数 | 回答数 | 回答率   |
|-------|--------|-----|-------|
| 全業種   | 600    | 272 | 45.3% |
| 建設業   | 120    | 56  | 46.7% |
| 製造業   | 120    | 66  | 55.0% |
| 卸売業   | 120    | 61  | 50.8% |
| 小売業   | 120    | 41  | 34.2% |
| サービス業 | 120    | 48  | 40.0% |

## 売上DI値推移表

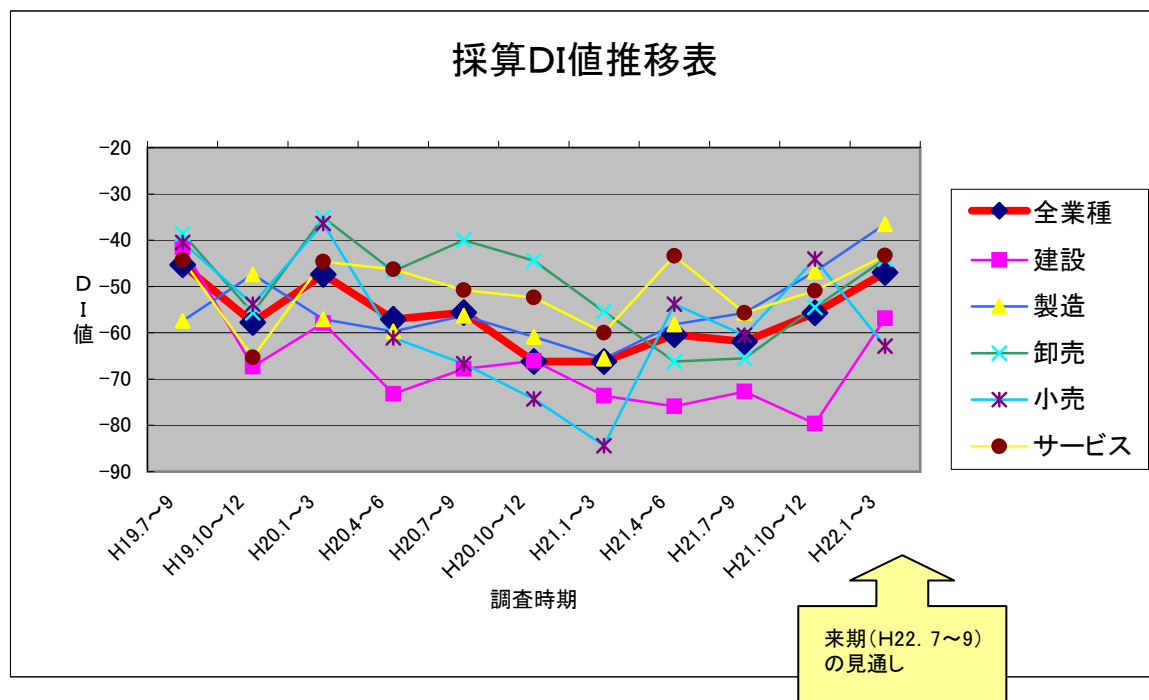


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「売上面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は51社(前期比8社増)、「減少した」と回答した企業は159社(前期比10社減)、「横ばいである」と答えた企業は58社(前期比1社増)であった。DI値を見ると、マイナス幅は四期連続で縮小して▲40. 3となり、前期比で6. 5P好転した。

業種別に見ると、建設業▲48. 2(前期比8. 7P好転)、製造業▲24. 6(前期比4P好転)、卸売業▲32. 2(前期比12. 6P好転)、小売業▲65(前期比12. 8P好転)、サービス業▲39. 6(前期比1. 7P好転)となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは全業種DI値は▲40. 3と0. 4P悪化する見込み。

## 採算DI値推移表

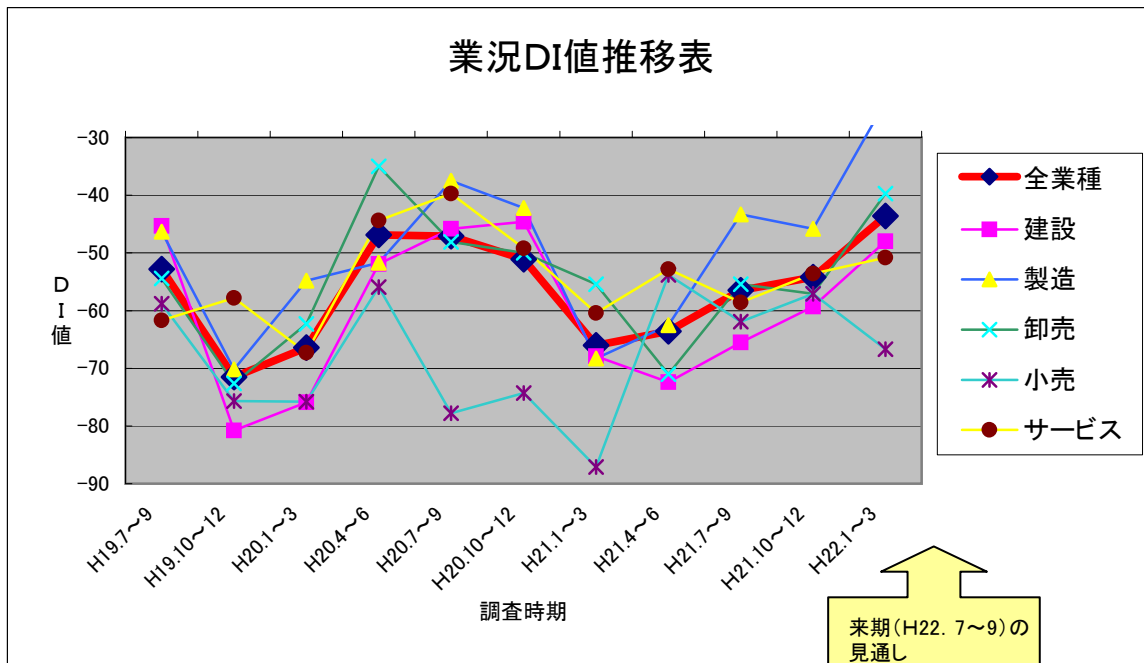


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「採算面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は28社(前期比8社減)、「悪化した」と回答した企業は151社(前期比11社増)、「横ばいである」と答えた企業は88社(前期比18社増)であった。DI値を見ると、マイナス幅は四期ぶりに縮小して▲46. 1となり、前期比で0. 9P好転した。

業種別に見ると、建設業▲46. 4(前期比10. 5P好転)、製造業▲33. 8(前期比2. 7P好転)、卸売業▲42. 4(前期比1. 7P好転)、小売業▲57. 5(前期比5. 4P好転)、サービス業▲57. 4(前期比14. 1P悪化)となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは全業種DI値は▲40. 5と、5. 6P好転する見込み。

## 業況DI値推移表

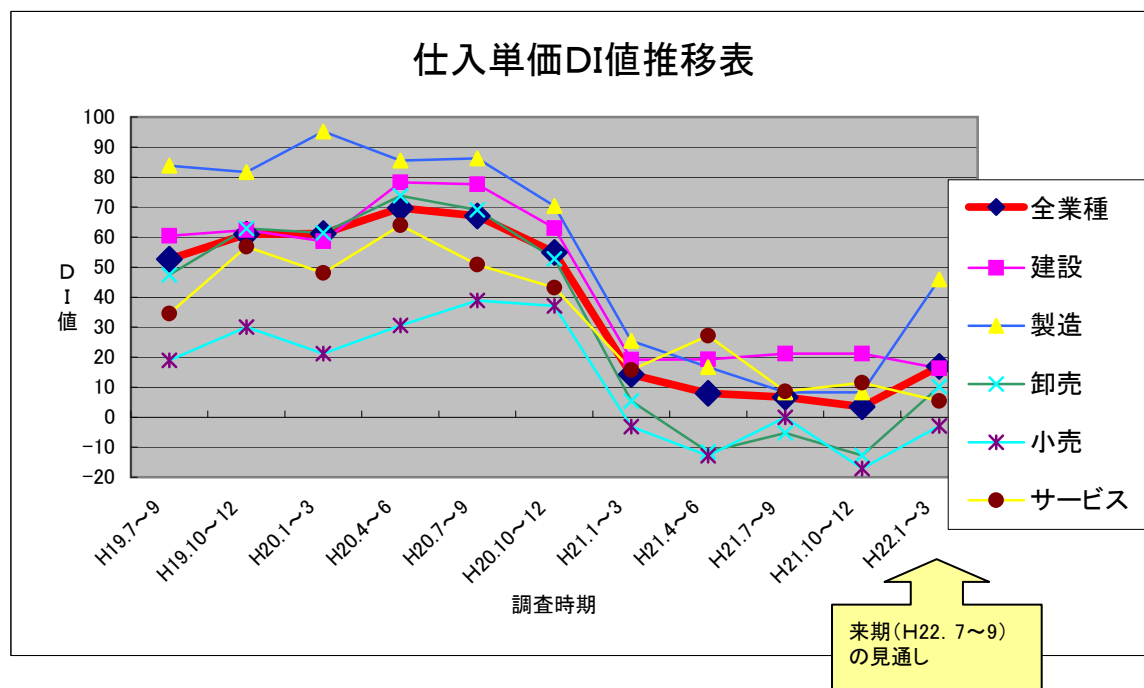


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「業況面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は29社(前期比1社減)、「悪化した」と回答した企業は150社(前期比4社増)、「横ばいである」と答えた企業は86社(前期比4社減)であった。DI値を見ると、▲45. 7となり、前期比で2. 1P悪化した。

業種別に見ると、建設業▲53. 6(前期比5. 6P悪化)、製造業▲31. 3(前期比7. 5P悪化)、卸売業▲49. 2(前期比9. 5P悪化)、小売業▲55(前期比11. 7P好転)、サービス業▲43. 5(前期比7. 3P好転)となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは全業種DI値は▲37. 2と、3. 7P好転する見込み。

## 仕入単価DI値推移表

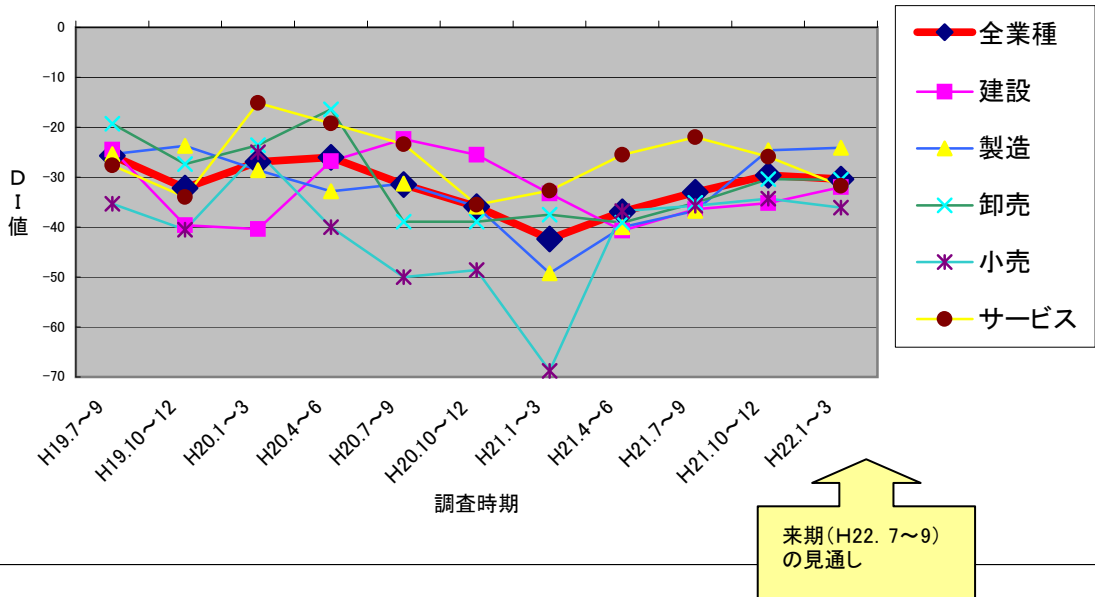


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「仕入単価面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「上昇した」と回答した企業は86社(前期比9社増)、「低下した」と回答した企業は30社(前期比3社減)、「横ばいである」と答えた企業は140社(前期比10社減)であった。DI値を見ると、21. 9となり、前期比で5P悪化した。

業種別に見ると、建設業9. 4(前期比6. 9好転)、製造業46. 9(前期比1悪化)、卸売業20. 3(前期比10. 1P悪化)、小売業0(前期比2. 9P好転)、サービス業22. 5(前期比17. 1P悪化)となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは全業種DI値は19. 9と、2P好転する見込み。

### 資金繰りDI値推移表

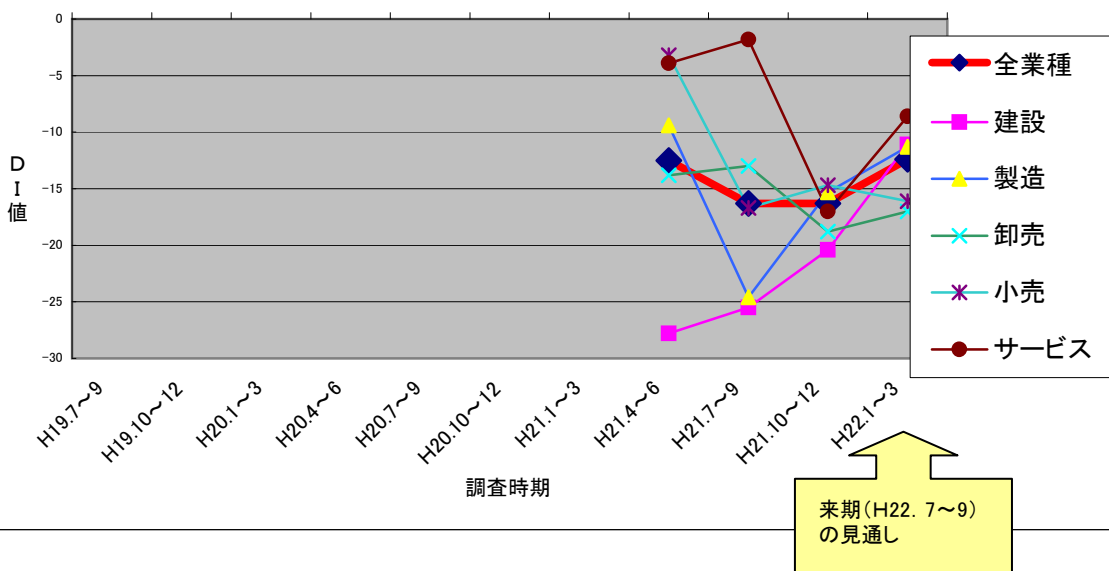


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「資金繰り面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は16社(前期比2社増)、「悪化した」と回答した企業は99社(前期比5社増)、「横ばいである」と答えた企業は150社(前期比5社減)であった。DI値を見ると▲31.3となり、前期比で0.9P悪化した。

業種別に見ると、建設業▲39.3(前期比7.3P悪化)、製造業▲20(前期比4.1P好転)、卸売業▲31(前期比0.5P悪化)、小売業▲32.5(前期比3.6P好転)、サービス業▲37(前期比6.3P悪化)となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは全業種DI値は▲30と、1.3P好転する見込み。

### 従業員数DI値推移表

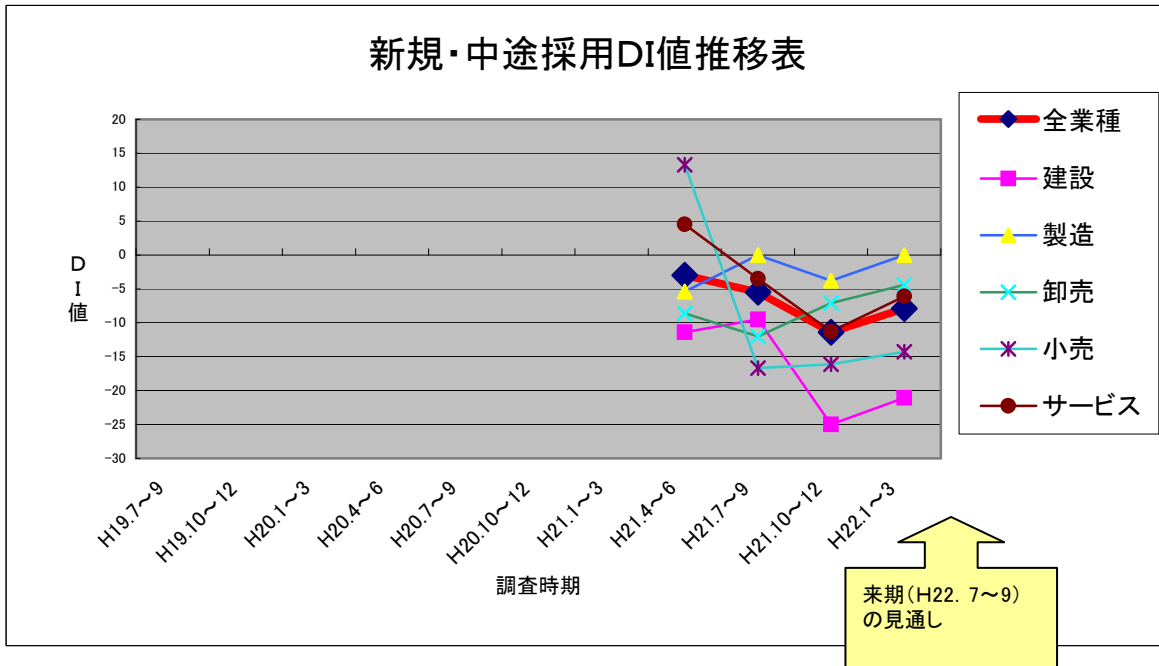


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「従業員数面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は27社、「減少した」と回答した企業は60社、「横ばいである」と答えた企業は162社であった。DI値は▲13.3となった。

業種別に見ると、建設業▲23.5、製造業▲12.5、卸売業▲13、小売業▲19.4、サービス業▲2.3となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは、全業種DI値は▲12.3となる見込み。業種別に見ると、建設業▲17.3、製造業▲9.5、卸売業▲13.2、小売業▲11.4、サービス業▲9.8となる見込み。

## 新規・中途採用DI値推移表

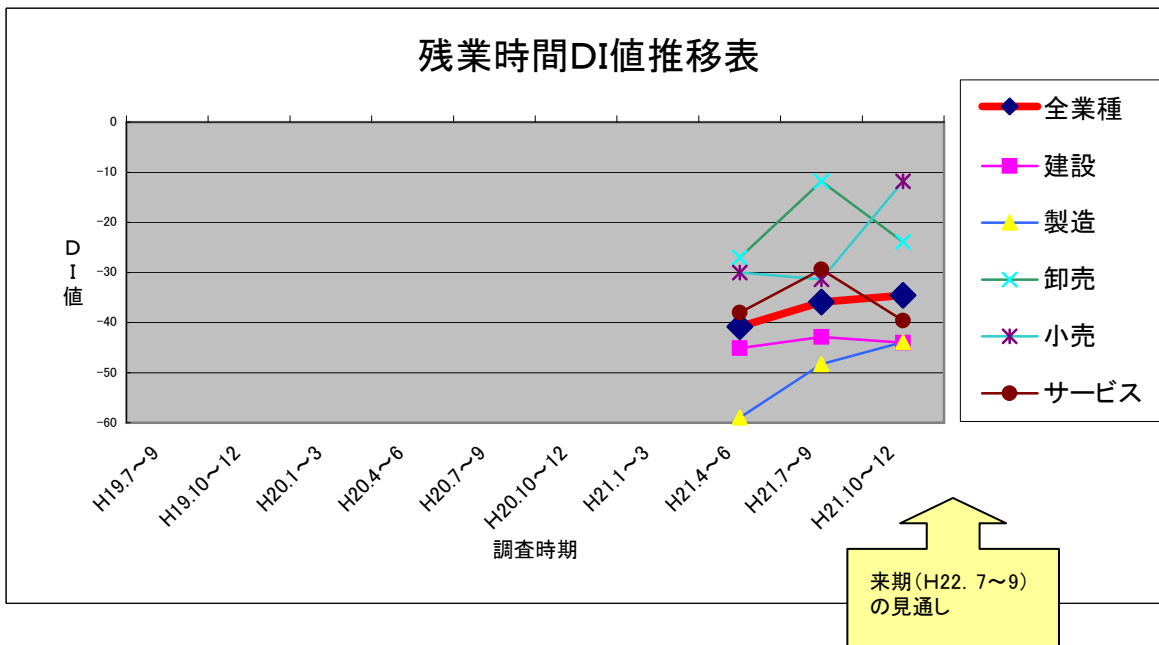


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「新規・中途採用面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は27社、「減少した」と回答した企業は37社、「横ばいである」と答えた企業は162社であった。DI値は、▲4. 4となった。

業種別に見ると、建設業▲6. 5、製造業0、卸売業▲5. 9、小売業▲15. 2、サービス業2. 6となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは、全業種DI値は▲5となる見込み。業種別に見ると、建設業▲4. 4、製造業0、卸売業▲8、小売業▲3、サービス業▲10. 8となる見込み。

## 残業時間DI値推移表

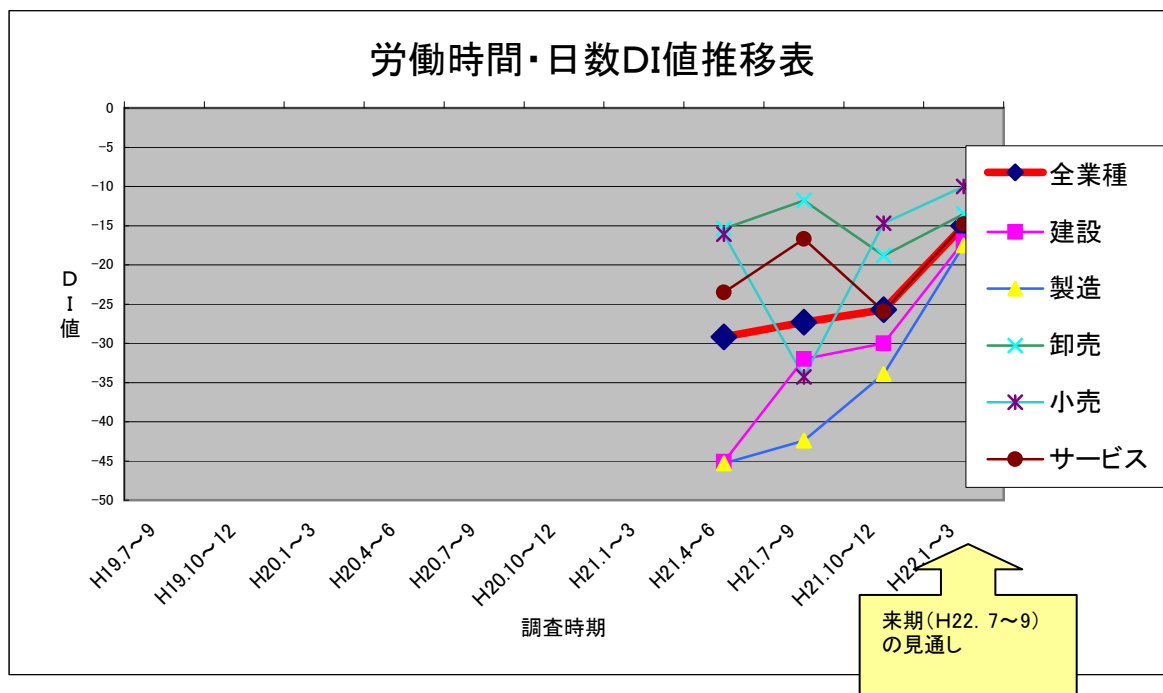


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「残業時間面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は18社、「減少した」と回答した企業は83社、「横ばいである」と答えた企業は143社であった。DI値は▲26. 6となった。

業種別に見ると、建設業▲32. 7、製造業▲22. 2、卸売業▲16. 7、小売業▲31. 4、サービス業▲35となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは、全業種DI値は▲20. 7となる見込み。業種別に見ると、建設業▲26. 9、製造業▲17. 5、卸売業▲13. 2、小売業▲17. 1、サービス業▲30. 8となる見込み。

## 労働時間・日数DI値推移表

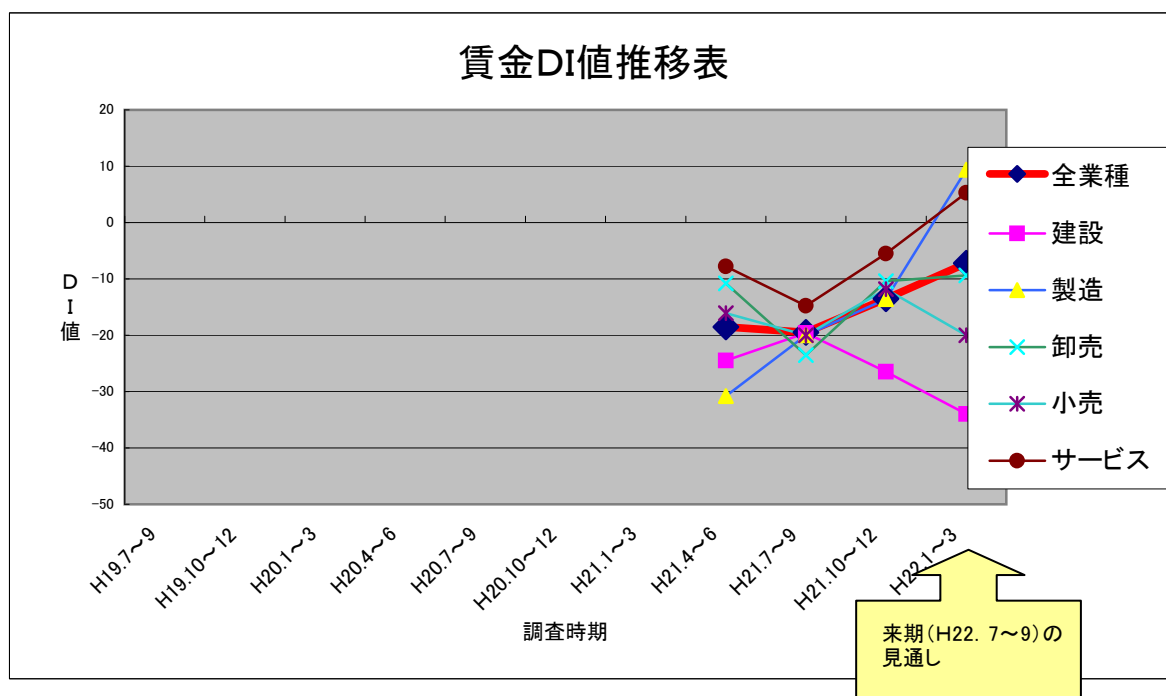


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「労働時間・日数面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は17社、「減少した」と回答した企業は54社、「横ばいである」と答えた企業は175社であった。DI値は▲15となった。

業種別に見ると、建設業▲23.1、製造業▲17.2、卸売業▲1.9、小売業▲17.1、サービス業▲17.1となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは、全業種DI値は▲12.8となる見込み。業種別に見ると、建設業▲19.2、製造業▲18.8、卸売業▲1.9、小売業▲5.7、サービス業▲15.4となる見込み。

## 賃金DI値推移表

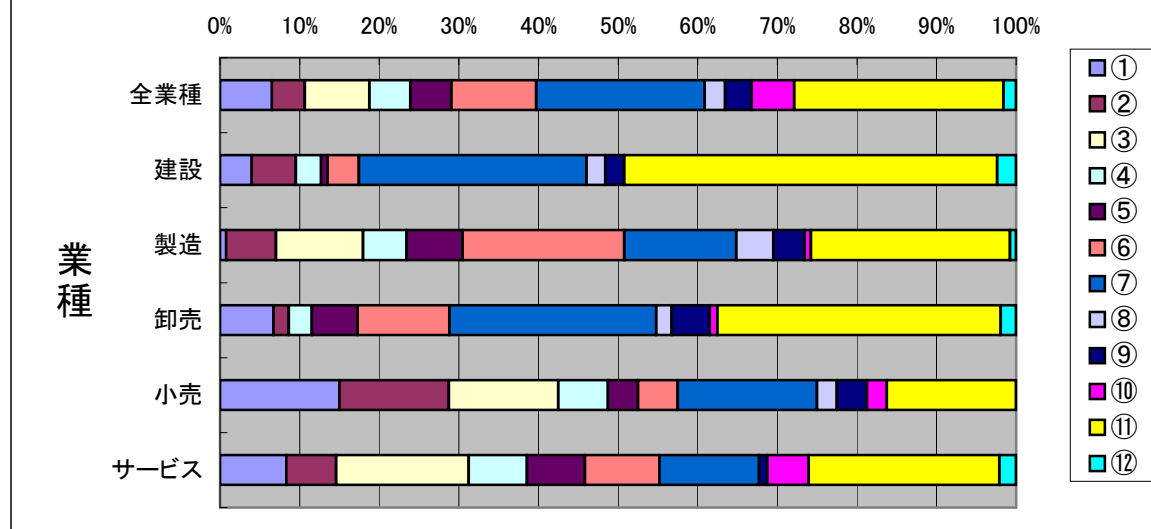


今期(H22. 4~6)の久留米市地場企業景況調査で「賃金面」での景気判断指数(DI値)は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は32社、「減少した」と回答した企業は47社、「横ばいである」と答えた企業は167社であった。DI値は▲6.1となった。

業種別のDI値では、建設業▲21.2、製造業0、卸売業9.4、小売業▲17.1、サービス業▲7.1となった。

来期(H22. 7~9)の見通しでは、全業種DI値は▲5.3となる見込み。業種別に見ると、建設業▲19.2、製造業4.7、卸売業5.7、小売業▲14.3、サービス業▲10となる見込み。

## 経営上の問題点(複数回答可)



①大企業の進出による競争の激化 ②同業者の進出 ③消費者ニーズへの対応 ④人件費の増加 ⑤人件費以外の経費の増加 ⑥仕入単価の上昇 ⑦販売価格の低下 ⑧金利負担の増加 ⑨事業資金の借入難 ⑩従業員の確保難 ⑪需要の停滞 ⑫その他  
 今期(H22. 4~6)の経営上の悩みとしては、「需要の停滞(24.9%)」「販売価格の低下・上昇難(20.0%)」を指摘する声が多く寄せられている。  
 特に、「需要の停滞」は建設業(46.8%)、製造業(25.0%)、卸売業(35.6%)、小売業(16.3%)サービス業(24.0%)と全業種で意見が集中した。

### <事業所から寄せられた主なコメント>

#### 【建設業】

- ・請負金額の値崩れや、工事物件数に対する業者の増加(参加希望者の価格競争)による利益率の低下。
- ・建設業関係の倒産件数は少なくなってきたが、手形の割合等が増え、不審をかかえての営業が。
- ・需要の低迷。

#### 【製造業】

- ・営業や経理の出来る優秀な人材が欲しい。
- ・請負単価の低下に伴う利益減少。
- ・原材料等がなかなか入ってこない。

#### 【卸売業】

- ・大手スーパー等の進出により、街中での小売・飲食店の売上が低下し、廃業・代金回収等が悪化しつつある。
- ・今後輸出業を展開したいが、円高が心配の要因になってきている。
- ・メーカーの生産能力の低下(生産が間に合わない)。

#### 【小売業】

- ・荒利率の向上、経費節減、財務体質の改善を遂行して、売上減少分コストを抑え減収増益に推移。
- ・大型店の女元り、乱売、商品単価の下落が続く中、取引や配達、諸経費などは横ばいのりで古しい。
- ・スタッフが休業した際、人材を確保が出来るか心配。

#### 【サービス業】

- ・人件費の増加、同業者の増加に伴う価格競争激化の中、客単価は上げられず収益を圧迫している。
- ・原料の値上がり分を売価に転嫁できない。原材料価格が不安定で見込みがたたない。
- ・法人需要が減少している。